

全体総括

○計画期間：平成21年12月～平成27年3月（5年4月）

1. 計画期間終了後の市街地の状況（概況）

姫路市中心市街地活性化基本計画（以下「前計画」という。）では、「人々が行き交い未来へ息吹く姫路の城下（まち）～城と駅を核としたまちの魅力向上による「にぎわい」の創出と「活力」の増大～」を基本テーマに掲げ、この実現に向けて3つの基本方針と2つの目標を設定し、目標に沿った事業展開を実施することにより活性化に取り組んできたところである。

ハード事業においては、JR山陽本線等連続立体交差事業、姫路駅周辺土地区画整理事業により、中心市街地南北の一体利用が図られるとともに、公共交通によるアクセシビリティや利便性が向上した。また、JR山陽本線等連続立体交差事業により生み出された広大な用地を活用し、「広域圏の中核都市にふさわしい、にぎわいとうるおいにあふれた交流都心」の形成を目指すキャストィ21のエントランスゾーン整備事業やコアゾーン整備事業により、姫路駅北駅前広場や大手前通り（十二所前線以南）など、高質かつ広大な公共空間が整備され、市民の賑わいや活性化に向けた活動の場が整いつつある。また、姫路城大天守保存修理工事が平成27年3月末に完了するなど、本市への来訪者の増加が期待できる。

ソフト事業においては、空き店舗数の減少を目指した空き店舗対策事業や、商店街の魅力づくりに向けた、がんばるまちなか商店街ソフト事業などを実施しており、これらの事業による一定の効果が見られるものの、空き店舗数などの数値目標達成までには至っていない。

計画期間終了後も引き続き、キャストィ21 コアゾーン整備事業やイベントゾーン整備事業などにより、高質な都心空間を創出するとともに、前計画における姫路駅北駅前広場の整備を契機に生まれた、市民レベルでの自主的なまちづくりへの参加や街なかの活性化を考えようとする動きとの連携を深めつつ、中心市街地の活性化に向けて取り組んでいく。

2. 計画した事業は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか（個別指標毎ではなく中心市街地の状況を総合的に判断）

【進捗・完了状況】

- ①概ね順調に進捗・完了した      ②順調に進捗したとはいえない

【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた  
②若干の活性化が図られた  
③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）  
④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由（2. における選択肢の理由）

計画していた事業は概ね遅滞なく実施でき、56事業中15事業が完了、残る41事業が実施中であることから、概ね順調に進捗・完了したといえる。

前計画に掲げる3つの数値目標のうち、居住者数のみが目標を達成しており、これは、キャストィ

21 エントランスゾーン整備事業をはじめとするハード整備により都心空間の魅力が向上したことに加え、小中一貫教育推進モデル校の開設などにより居住地としての魅力向上も大きな要因であると考えられる。

一方、歩行者・自転車通行量については、目標を達成しておらず、姫路城大天守保存修理工事による観光客の大幅な減少や姫路駅周辺整備事業による街なかへのアクセス阻害などが大きな要因であると考えられる。

また、空き店舗数についても、姫路駅から離れた商店街を中心に改善が見られず、姫路駅周辺整備等で増加した来訪者を商店街に誘引できなかったことや、ソフト事業などが十分に活かされず、街なかでのにぎわい創出につながらなかったことのほか、商店街そのものの求心力の低下等が要因と推察される。

前計画での、姫路駅周辺整備事業や姫路城大天守保存修理事業などの大規模なハード事業により、中心市街地の活性化に向けた舞台が整いつつあると言える。

#### 4. 中心市街地活性化基本計画の取組に対する中心市街地活性化協議会の意見

##### 【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

##### 【詳細を記載】

姫路駅周辺整備事業の進展によりJR姫路駅や地下街等に新規商業施設が立地し、今後も新たな商業施設や娯楽施設等の建設が計画されているが、これらの新規商業施設や商店街等の既存の商業集積地等を回遊させるための事業者間の連携や仕掛けづくりが必要である。

また、域内で活動する各団体等が連携し、一体的に情報発信や事業等を展開する体制を構築するなど、行政、民間が両輪となりタウン・エリアマネジメントに取り組む必要がある。

#### 5. 市民意識の変化

##### 【活性化状況】

- ①かなり活性化が図られた
- ②若干の活性化が図られた
- ③活性化に至らなかった（計画策定時と変化なし）
- ④活性化に至らなかった（計画策定時より悪化）

##### 【詳細を記載】

平成26年8月に実施した「中心市街地活性化に関する市民アンケート」において、最近5年間で中心市街地が行きたい場所になったかの設問に対して、「思う」、「どちらかと言えば思う」という肯定的な意見が53.9%となっており、前計画の各事業により中心市街地の魅力が高まったと市民が実感していると考えられる。

## 中心市街地の活性化に関する市民アンケート

調査時期:平成 26 年 8 月

調査方法:市民 3,000 人を無作為抽出(中心市街地内外居住者各 1,500 人)

有効サンプル数:1,050 人(中心市街地内居住者 523 人、中心市街地外居住者 527 人)

### 【最近 5 年間で中心市街地が行きたい場所になったと思うかに関する回答集計結果】

	中心市街地内居住者		中心市街地外居住者		合 計	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
1) 思う	145	27.5%	97	18.5%	242	23.0%
2) どちらかと言えば思う	176	33.4%	148	28.3%	324	30.9%
3) どちらとも言えない	127	24.1%	151	28.9%	278	26.5%
4) どちらかと言えば思わない	39	7.4%	66	12.6%	105	10.0%
5) 思わない	28	5.3%	60	11.5%	88	8.4%
無回答	12	2.3%	1	0.2%	13	1.2%
計	527	100.0%	523	100.0%	1,050	100.0%

## 6. 今後の取組

前計画では中心市街地の顔である姫路駅周辺を中心に公共空間や集客施設が整備され、「顔づくり」などに大きな成果をあげた反面、古くからの商店街などが立地するエリアの活性化やにぎわいづくりなどは姫路城大天守保存修理工事が計画期間に重なったこともあり十分な成果をあげることができなかったと考えられる。

一方、中心市街地の居住者数は堅調な増加傾向を示しており、このことは、中心市街地の都市機能集積や交通環境などの利便性が居住地選択に一定の評価を得た結果であり、本市の中心市街地活性化の可能性を示すものと捉えることができる。

前述の検証を踏まえ、本市では引き続き中心市街地活性化に向け、新たな中心市街地活性化基本計画(以下「新計画」という。)を策定し、新計画においては前計画の成果である姫路駅周辺を中心とした都市基盤施設や高質な公共空間などを活用しつつ、駅前広場等で芽ばえた市民主体によるまちづくりをタウン・エリアマネジメントに高めることを目的に、官民連携を視野に入れた仕組み・体制の構築を目指す。

このため、中心市街地活性化協議会内に、「第 2 期基本計画策定に向けた活性化検討会議」を設置し、同会議において、全体ビジョンをはじめ、各事業の進捗状況の共有や事業推進に向けた検討を重ねながら、関係機関等と議論を進め、実務者レベルで事業を検討する。

(参考)

各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値		達成状況
				(数値)	(年月)	
人々が訪れ、集い、回遊するまち	歩行者・自転車通行量	74,635人/日 (平成21年)	85,800人/日 (平成26年)	50,937人/日	H26年4月	C
	空き店舗数	40店舗 (平成21年)	30店舗 (平成27年)	37店舗	H27年3月	B
人々が暮らしたくなるまち	居住者数	8,341人 (平成21年)	8,656人 (平成27年)	8,932人	H27年3月	A

注) 達成状況欄 (注: 小文字の a、b、c は下線を引いて下さい)

A (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。さらに、最新の実績でも目標値を超えることができた。)

a (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。一方、最新の実績では目標値を超えることができた。)

B (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では基準値は超えることができたが、目標値には及ばず。)

b (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では基準値を超えることができたが、目標値には及ばず。)

C (計画した事業は概ね予定どおり進捗・完了。一方、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

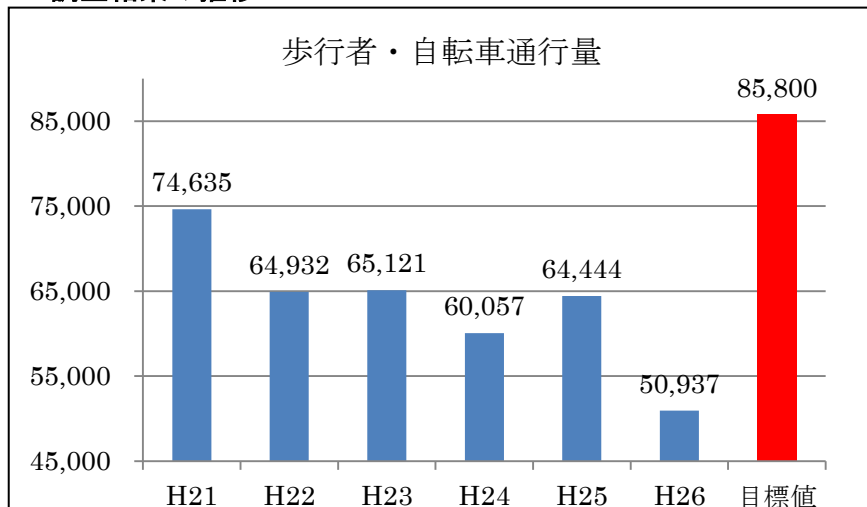
c (計画した事業は予定どおり進捗・完了しなかった。また、最新の実績では目標値および基準値にも及ばなかった。)

個別目標

目標①「人々が訪れ、集い、回遊するまち」

「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方基本計画 P57～P69 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H21	74,635 人 (基準年値)
H22	64,932 人
H23	65,121 人
H24	60,057 人
H25	64,444 人
H26	50,937 人
H26	85,800 人 (目標)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査（毎年 4 月 29 日実施）

※調査月：平成 26 年 4 月 29 日

※調査主体：姫路市

※調査対象：中心市街地内 7 地点

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 新駅ビル整備事業（西日本旅客鉄道株）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	駅前の空間を構成する重要な建築物である新駅ビルを、本市の玄関口にふさわしいデザインと魅力を備えた施設として整備する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	新駅ビルの開業により若い女性を中心に集客が見られるが、姫路駅周辺整備による街なかへのアクセス阻害などの要因により、この集客を十分に街なかまで誘引できなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	新駅ビルの開業をはじめ、姫路駅周辺整備による姫路駅前の魅力向上により、姫路駅周辺の商業施設等への来訪者は順調に増加している。今後は、この増加した来訪者を、商店街の活性化や街なかの魅力づくりを行うことにより、街なかまで誘引していく必要がある。
新駅ビル整備事業の今後について	事業は実施済み。

②. キャスティ 21 エントランスゾーン整備事業（駅前広場整備事業）（姫路市、神姫バス株）

支援措置名及び 支援期間	社会資本整備総合交付金(道路事業(区画)) 平成 23 年度～平成 26 年度
事業開始・完了 時期	平成 18 年度～平成 26 年度【済】
事業概要	姫路駅北駅前広場を拡張整備し、国内外から多くの人を訪れる本市の玄関口にふさわしく、高質で利便性が高く、ゆとりとうるおいにあふれたにぎわいのある駅前空間とする。また、交通結節点機能においても向上を図る。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来 なかった）理由	姫路駅北駅前広場が順調に整備され、周辺の商業施設等においても集客が見られるが、姫路駅周辺整備による街なかへのアクセス阻害などの要因により、十分に街なかへ誘引できなかった。
計画終了後の状 況（事業効果）	姫路駅北駅前広場の整備により、駅前が人々が集い、憩い、また、イベントなどができるにぎわい空間として生まれ変わった。今後は、市民とともに駅前広場を核に街なかのにぎわい創出及び周辺エリアへの波及効果、滞在時間延長を目指した事業展開を図る必要がある。
キャスティ 21 エントランスゾ ーン整備事業の 今後について	事業は実施済み。

③. 地下街改修事業（株姫路駅ビル）

支援措置名及び 支援期間	社会資本整備総合交付金(都市・地域交通戦略推進事業) 平成 24 年度
事業開始・完了 時期	平成 21 年度～平成 24 年度【済】
事業概要	姫路駅前地下街をより安全で利便性が高く、魅力的な商業施設として整備する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来 なかった）理由	地下街は計画どおり改修され、駅と街なかを結ぶ安全・快適な空間となっており、周辺の商業施設とともに計画どおりに集客ができているが、姫路駅周辺整備事業による街なかへのアクセス阻害などの要因により、十分に街なかへ誘引できなかった。
計画終了後の状 況（事業効果）	地下街をはじめ、姫路駅周辺の整備により、駅周辺の魅力が向上し、商業施設等への来訪者は増加している。今後は、増加した来訪者を、個々の店舗はもちろん、商店街の活性化や街なかの魅力づくりにより、周辺エリアまで足を伸ばす仕掛けが必要である。
地下街改修事業 の今後について	事業は実施済み。

④. 西二階町コミュニティホール活用事業（西二階町商店街振興組合）

支援措置名及び 支援期間	地域商店街活性化事業費補助金 平成 21 年度
事業開始・完了 時期	平成 21 年度～【実施中】
事業概要	西二階町商店街にある空き店舗を、集客イベント等を行うコミュニティホールとして整備し、有効活用する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来 なかった）理由	計画どおりに朝市や寄席などのイベントが開催され、多数の来訪者が訪れるなど、コミュニティホールとして有効活用されているが、周辺への回遊を生むまでには至っていない。
計画終了後の状 況（事業効果）	市内で唯一の定期寄席となる落語会『七福寄席』を毎月開催するなど、コミュニティスペースとして地域にも定着している。今後は、商店街の活性化や街なかの魅力づくりにより、街なかにおける回遊性を高めていく必要がある。
西二階町コミュ ニティホール活 用事業の今後に ついて	新計画においても、「西二階町コミュニティホール『七福座』活用事業」として、事業を継続する。

⑤. 姫路おでん会館（姫路おでん協同組合）

支援措置名及び 支援期間	地域商店街活性化事業費補助金 平成 21 年度
事業開始・完了 時期	平成 21 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地にある空き店舗を活用し、「姫路おでん」が食べられる観光・集客スポットとして「姫路おでん会館」を開設する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来 なかった）理由	二階町商店街内のビルの一角にて、実施主体は、屋台を運営しているが、周辺への回遊性を生むまでには至っていない。
計画終了後の状 況（事業効果）	引き続き、屋台にて姫路おでんの販売・PRに努めているが、姫路おでん会館の開設時期は未定である。
姫路おでん会館 事業の今後につ いて	新計画においても、「街なか観光事業」の中にある地域資源の一環として、民間事業者による独自事業として継続する。

⑥. にぎわい交流施設整備事業（姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」建替）（姫路商工会議所）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 21 年度～平成 25 年度【済】
事業概要	姫路商工会議所まちづくりステーション「街の駅」を、観光客・市民が憩える新たなにぎわい交流施設として整備する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	計画どおりににぎわい交流施設が整備され、観光客の一休みスペースや地域住民の交流スペースとして機能しているが、周辺への回遊を生むまでには至っていない。
計画終了後の状況（事業効果）	商店街の情報発信はもちろん、子育てほっとステーションとして、また、交流の場として機能している。今後は、拠点施設として、商店街の活性化や街なかの魅力づくりとあわせて、効果的な情報発信により、周辺への回遊性を高めていく必要がある。
にぎわい交流施設整備事業の今後について	新計画においても、「まちづくりステーション『街の駅』運営事業」として、事業を継続する。

⑦. 「体験型集客イベント～まちなかあるき～」の実施（民間）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 20 年度～【実施中】
事業概要	本市の魅力を随所で体感できるよう市民がおもてなしの主役になって観光客を案内する。
目標値・最新値	【目標値】85,800 人 【実績値】50,937 人
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	中心市街地内に存在する歴史的・文化的資源について、マップ作成や民間団体による観光ガイドなどが行われているが、周辺への回遊を生むまでには至っていない。
計画終了後の状況（事業効果）	姫路城のグランドオープンにより大幅に増加した観光客に対し、中心市街地に存在する歴史・文化資源などの魅力を紹介するとともに、観光関係者をはじめ、事業者、市民等がまちなか観光について協議し、事業展開を図る。
「体験型集客イベント～まちなかあるき～」の実施の今後について	新計画においても、「街なか観光事業」の一環として、事業を継続する。



### 3.今後について

前計画において、姫路駅周辺に新たな集客施設が整備されたことにより、中心市街地への来訪者は増加しているものの、商店街エリアなどの魅力が相対的に高いと言えないなど、姫路駅周辺整備事業の効果により増加した来訪者を街なかへ十分に誘引できていない。

このため、新計画においても、基本方針「行きたい城下」の下、「新たな魅力の創出と移動環境の向上による来訪者数の増加」を目標に掲げ、新たな魅力ある施設の整備や街なかでのにぎわい創出を図るとともに、公共交通、自転車等の移動環境向上により来訪者数の増加を目指す。

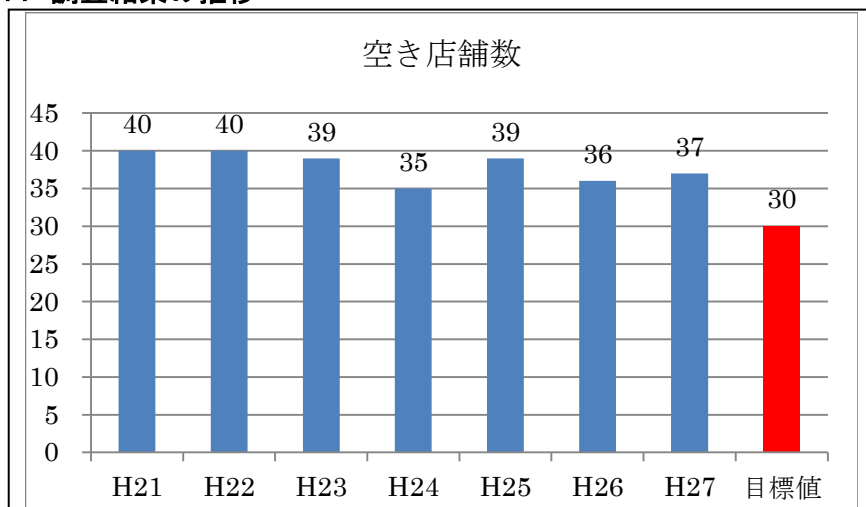
なお、目標の達成状況を把握するため、引き続き、「歩行者・自転車通行量」を数値目標として設定する。

個別目標

目標①「人々が訪れ、集い、回遊するまち」

「空き店舗数」※目標設定の考え方基本計画 P70～P73 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H21	40 店舗 (基準年値)
H22	40 店舗
H23	39 店舗
H24	35 店舗
H25	39 店舗
H26	36 店舗
H27	37 店舗
H27	30 店舗 (目標)

※調査方法：現地調査（毎年3月末）  
 ※調査月：平成26年3月実施、4月とりまとめ  
 ※調査主体：姫路市  
 ※調査対象：中心市街地内の15商店街

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 空き店舗対策事業（姫路商工会議所）

支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 平成16年度～
事業開始・完了時期	平成13年度～【実施中】
事業概要	中心市街地商店街内の空き店舗への出店に対する家賃補助や改装費補助の支援を行い、新たな魅力ある店舗等の出店を促進し、商店街の魅力向上や来街者の回遊促進を図る。
目標値・最新値	【目標値】10店舗減少 【実績値】3店舗減少
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	毎年、一定数の新規出店があるなど、出店者への支援による事業効果は見られるものの、姫路駅から離れた商店街においては、姫路駅周辺整備等の効果で増加した来訪者を十分に誘引できていないことなどから、新規出店以上に退店が発生するなど、空き店舗数の改善には至っていない。
計画終了後の状況（事業効果）	姫路駅から離れた（歩行者数が少ない）商店街においては、空き店舗の状況にあまり好転の兆しが見られないことから、空き店舗対策の重点エリアとして、外部関係者も巻き込みながら、より積極的に取り組んでいく必要がある。
空き店舗対策事業の今後について	新計画においても、「中心市街地商店街空き店舗対策事業」として、事業を継続する。

②. 西二階町コミュニティホール活用事業（西二階町商店街振興組合）

支援措置名及び支援期間	【再掲】
事業開始・完了時期	【再掲】
事業概要	【再掲】
目標値・最新値	【目標値】10 店舗減少 【実績値】3 店舗減少
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	計画どおりに朝市や寄席などのイベントが開催され、多数の来訪者が訪れるなど、コミュニティホールとして有効活用されているが、新たな来街者ならびに店舗の進出までには至っていない。
計画終了後の状況（事業効果）	市内で唯一の定期寄席となる落語会『七福寄席』を毎月開催するなど、コミュニティスペースとして地域にも定着している。今後は、姫路駅西側の拠点施設として中心市街地商店街空き店舗対策事業や街なか起業家支援事業と連携しながら、新たな来街者をターゲットとした店舗の進出を目指す必要がある。
西二階町コミュニティホール活用事業の今後について	新計画においても、「西二階町コミュニティホール『七福座』活用事業」として、事業を継続する。

③. がんばるまちなか商店街ソフト事業（姫路市）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 21 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における商店街等が実施する新たなにぎわいづくりイベント等ソフト事業について助成する。
目標値・最新値	【目標値】10 店舗減少 【実績値】3 店舗減少
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	イベント等のソフト事業が、予定どおりの頻度や内容で実施できなかったため、商店街等の新たな魅力づくりまでに至らず、街なかにおけるにぎわいの創出や回遊性の向上につながらなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	商店街における活力が相対的に低下していることから、様々な実施主体を巻き込みながら、にぎわいを創出する事業を展開することで、引き続き商店街の魅力向上を図る必要がある。
がんばるまちなか商店街ソフト事業の今後について	新計画においても、「商店街にぎわい創出事業」として、事業を継続する。

④. 活力あるまちなか商店街づくり促進事業（姫路市）

支援措置名及び支援期間	なし
事業開始・完了時期	平成 13 年度～【実施中】
事業概要	商店街等が、商店街の活性化のために空き店舗等を活用して行う「生活支援事業」、「テナント・ミックス事業」に対して支援する。
目標値・最新値	【目標値】10 店舗減少 【実績値】3 店舗減少
達成状況	目標未達成
達成した（出来なかった）理由	平成 24 年度より「中心市街地商店街空き店舗対策検討会」を立ち上げ、「テナント・ミックス事業」をはじめ、「チャレンジショップ」等の事業化に向け、関係者と検討を重ねたが、実現までに至らず、結果、商店街への魅力ある店舗の出店を促すことができなかった。
計画終了後の状況（事業効果）	姫路駅から離れた（歩行者数が少ない）商店街においては、空き店舗の状況にあまり好転の兆しが見られないことから、空き店舗対策の重点エリアとして、外部関係者も巻き込みながら、より積極的に取り組んでいく必要がある。
活力あるまちなか商店街づくり促進事業の今後について	新計画においても、「中心市街地商店街空き店舗対策事業」として、事業を継続する。

3. 今後について

前計画において、商店街の活性化や街なかの魅力づくりに取り組んだものの、十分な効果が見られず、姫路駅周辺整備により増加した来訪者を街なかまで誘引できていない。

このため、新計画においても、基本方針「にぎわう城下(まち)」の下、「新陳代謝の促進による街なか(商店街)の活性化」を目標に掲げ、タウンマネージャーをはじめ、まちづくり会社、商店街等と連携を図り、新たな担い手を育成するために、若くてやる気あふれる起業家や繁盛店づくりを支援し、空き店舗を活用した出店を誘導することにより、空き店舗の削減を図る。特に、空き店舗が多く、姫路駅から距離がある商店街を重点エリアとするなどの空き店舗対策事業を推進する。

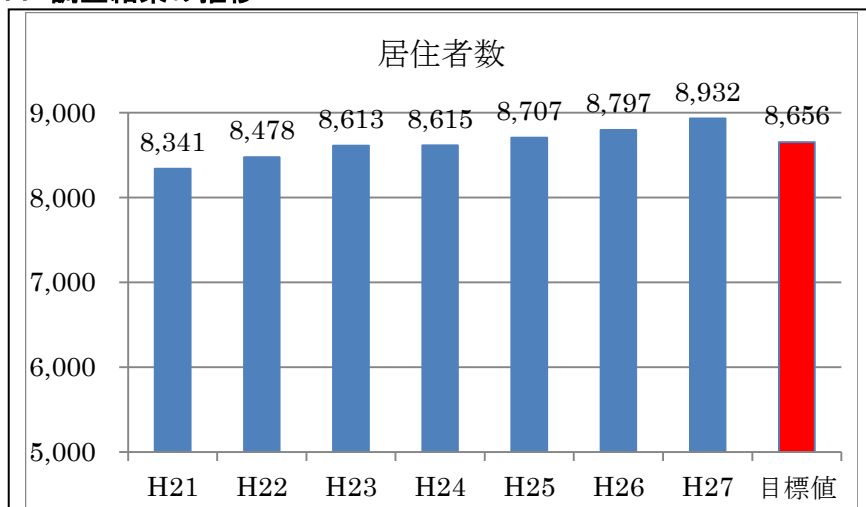
なお、目標の達成状況を把握するため、引き続き、「空き店舗数」を数値目標として設定する。

個別目標

目標②「人々が暮らしたくなるまち」

「居住者数」※目標設定の考え方基本計画 P74～P77 参照

1. 調査結果の推移



年	(単位)
H21	8,341 人 (基準年値)
H22	8,478 人
H23	8,613 人
H24	8,615 人
H25	8,707 人
H26	8,797 人
H27	8,932 人
H27	8,656 人 (目標)

※調査方法：中心市街地内の住民基本台帳登録人口  
 ※調査月：平成 26 年 3 月末現在、4 月とりまとめ  
 ※調査主体：姫路市  
 ※調査対象：中心市街地内居住者

2. 目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況（事業効果）

①. 駅南土地区画整理事業（姫路駅南西地区）（土地区画整理事業）（姫路市）

支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) 平成 19 年度～平成 26 年度
事業開始・完了時期	平成 19 年度～平成 26 年度【実施中】
事業概要	姫路駅の南西部の工場跡地等を、都心部にふさわしい計画的な市街地として再生することを目的に、土地区画整理事業を展開することにより、都市基盤施設の整備改善を行い宅地の利用増進を図る。
目標値・最新値	【目標値】8,656 人 【実績値】8,932 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	当事業単体では、計画よりも進捗が遅れているが、他の姫路駅周辺整備事業などにより、街なか居住の魅力が向上し、民間のマンション建設が進むなど、街なか居住人口の増加が図られた。
計画終了後の状況（事業効果）	新計画においても、引き続き事業を推進し、都市基盤施設の整備を進めることにより、街なか居住や新たな商業機能の立地を促進する。
駅南土地区画整理事業の今後について	新計画においても、「駅南土地区画整理事業(姫路駅南西地区)」として、事業を継続する。

## ②. 小中一貫教育推進モデル校の開設（姫路市）

支援措置名及び支援期間	社会福祉施設の転用の弾力的な承認(地域再生計画の認定によるもの) 平成 21 年度
事業開始・完了時期	平成 21 年度～【実施済】
事業概要	利便性の高い中心市街地において、「魅力ある姫路の教育創造プログラム」の主要事業として位置付けている、小中一貫教育推進モデル校を開設する。
目標値・最新値	【目標値】8,656 人 【実績値】8,932 人
達成状況	目標達成
達成した（出来なかった）理由	小中一貫教育モデル校の開設に伴い、全市域を対象に校区外からも児童を募集したことにより、教育環境を重視する子育て世代に対し、居住地としての魅力を高めることができた結果、民間マンションの建設が進むなど街なか居住人口の増加が図られた。
計画終了後の状況（事業効果）	中心市街地内へのマンション建設は、好調に推移しているが、より一層街なか居住を推進するために、引き続き都市福祉施設などの整備等などにより、居住地としての魅力を高めていく必要がある。
小中一貫教育推進モデル校の開設の今後について	事業は実施済み。

## 3. 今後について

前計画における、姫路駅周辺整備事業や小中一貫教育推進モデル校の開設等による、居住地としての魅力向上を受けた民間マンションの建設事業などにより、数値目標は達成しているものの、今後の人口減少社会等を見据え、引き続き街なか居住に向けた取組を進めていく必要がある。

このため、新計画においても、基本方針「住みたい城下(まち)」の下、「多世代が快適・便利に暮らせる居住環境の向上」を目標に掲げ、駅南地区土地区画整理事業だけでなく、姫路駅周辺土地区画整理事業により、都心部にふさわしい計画的な市街地として、都市基盤施設の整備改善を行い、宅地の利用増進を図る。また、環境の向上と良好な住宅を確保するため、優良建築物等整備事業による民間での建物更新を推進する。

また、街なかに来訪者を誘引する環境整備や仕掛けづくり、官民連携による前計画のハード整備で創出した高質なストック等の利活用などにより中心市街地の付加価値を高めることで、街なか居住のニーズの増大を図る。

なお、目標の達成状況を把握するため、引き続き、「居住者数」を数値目標として設定する。